

ピースウィーク行動へのメッセージ

新型コロナウイルスが全世界中に感染拡大し、日本国内でも、行政機関はその防止対策や経済対策に忙殺され、市民生活も大きく変容しようとしています。緊急事態宣言が発令され、外出自粛が求められた際には、街中を歩く人の姿が消え、あたかも戦時下のようでした。

しかし、私たちは本当の戦争を経験してはいません。実際の戦争は知りません。私の父は戦地に赴いた人でしたので、小さな頃は、よく戦争の話をかされました。母からも戦後の食糧難で買い出しに苦労した話を聞かせてもらいました。社会に出た後、ヒロシマ・ナガサキへ行き、沖縄へ行き、報道による見聞きで、戦争の何であるかを知識として知っているのみです。

けれども、実際の戦争とは、人間の尊厳が失われた、悲惨極まりないものであるだろうと思います。第2次世界大戦が終わって75年が過ぎ、戦争を知らない世代が大半となりました。地球上では、今も戦禍にまみれて生活をしている人が沢山います。戦争を知らずに過ごせることが、どれほど幸せであるのか、私たちは実体験としてそれを知らないのですが、それを知らずにあり続けることのできるよう、今ある平和を大切にしていかななくてはならないと思います。

令和2年7月吉日

三浦半島地域連合議員団会議顧問
横須賀市議会議員 角井 基